



# 学院時報

No.91

平成30年10月1日発行

## 聖ドミニコ学院

幼稚園・小学校  
中学校・高等学校

〒980-0874  
仙台市青葉区角五郎2-2-14  
URL: <http://www.dominic.ac.jp>  
TEL 022(222)6337  
FAX 022(221)6203

北仙台幼稚園  
〒981-0914  
青葉区堤通雨宮町11-11  
TEL・FAX 022(234)3615

### 「感謝」

理事長 中学高校校長

小笠原朋之



ドミニコ  
は元氣いっ  
ぱいです。  
皆さまから  
の御支援に

感謝の笑顔がはじけています。

高校剣道部が今年の県総体で団体初優勝、三重県伊勢市で開催されたインターハイに出場。お姉さんに負けじと、中学剣道部も県総体で団体優勝し二連覇を成し遂げ、岡山市で開催された全中大会に出場。また、中学高校バトントワーリング部は宮城県高校文化連盟から推薦され、8月信州長野で開催された全国高校総合文化祭にパレード部門と演技部門に出演。さらに、高校バレーボール部が8月末から山形市・天童市で行われた東北大会に出場。一方、トモダチサマー2018ソフトバンクリーダーシッププログラムに応募し、東日本大震災の被災地である

岩手・宮城・福島三県から選ばれた高校生100名のなかに本校1年生と3年生各1名が参加し、7月20日～8月10日の期間、アメリカで研修してきました。

さて、私は昨年4月に赴任し、二年目を迎えました。この間、メールアニエス鈴木かな子理事長が今年2月天に召され、4月から理事長を務めることになりました。前理事長はいつも微笑んでおられる方でした。その瞳の奥には、信仰に命を捧げた揺るぎない信念が宿り、「聖ドミニコ学院はひとつの家族となつて、神から与えられた個々の才能、可能性とともに輝かせる努力をし、他者とともに生きることを学ぶ大切な場」であると、私たちに教え説かれていました。メールアニエスの遺志を受け継ぎ、「あせらず・やすま

### 宮城県高等学校 総合体育大会優勝報告

高校剣道部 顧問 若松 実

私達剣道部は、6月2日から6月4日に開催された、宮城県高等学校総合体育大会において、初めて優勝し、インターハイ出場の切符を手にすることができました。昨年、宮城県で開催されたインターハイに出場できず、来年こそは絶対にインターハイに出場しようと思っていました。しかし、代替りして11月に行われた宮城県新人大会では予選リーグ敗退をしてしまい、とても悔しい思いをいたしました。その2つの悔しさをばねに自分たちのやってきた剣道をもう一度見直し、日々稽古に励みました。不安に思ったり、迷ったりしたことも多々ありましたが、最後まで部員全員で声を掛け合い、励まし合いながら試合に臨み、優勝させて頂くことができました。剣

に、皆さまとの輪を大きくしていきたいと願っています。

お願ひ申し上げます。1000回  
のメールより一回の握手を大切



道部の生徒には常々、私たちが稽古、遠征ができるのは多くの方の力があって出来ている。素直な心、感謝の気持ちだけは忘れないようにと話をしています。これからも過去に感謝し、現在に勇気、未来に希望を持って、県大会優勝に留まらず、全国大会上位入賞を目指し、努力、精進していきたいと思ひます。今後とも応援よろしくお願ひ致します。

### 聖書のひとびと

「狭い門から入りなさい。滅びに通じる門は広く、その道も広々として、そこから入る者が多い。しかし、命に通じる門はなんと狭く、その道も細いことか。それを見いだす者は少ない。」  
(マタイによる福音書七章十三、十四節)

努力するという資質の備わった生徒を見かけることがある。クラブ活動で多忙な中、暇を見つければ、スツと課題に取り組み。たいがい、一休みしようとか、楽しいことを見つれたりするものだが、彼女の頭にはそのような考えは浮かばないらしい。美しいなと思う。

一人ひとり、その時々と与えられたなすべき課題というものがある。そこから逃げないこと、それに取り組むことがやがて、その人を成長させ、生かすのであろう。

イエスの弟子のリーダー、ペテロは、外典によれば、ネロ帝の狂喜渦巻くローマ帝国の迫害から逃れようとした時、復活のイエスに出会い、引き返し、ローマで殉教を遂げた。ここで「狭い門」とはイエスのこと、狭い道とはイエスの生き方を示しているようだが、命へ至る道行は、人それぞれである。

(中学高校)

副校長 Sr. 柚木 洋子



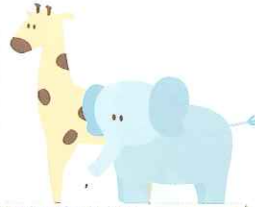
# 幼稚園

## 親子遠足

快晴に恵まれた五月、八木山動物公園に親子遠足へ行きました。お家の方との遠足に子ども達の顔もとても晴れやかでした。

公園内では自由に見学して頂き、お友達と一緒に楽しそうに回る方が多く見られました。中には色々な動物に夢中になり、迷子になりそうな姿も見られました。家族で動物園に行く経験はあると思いますが、いつも幼稚園で過ごす友達と一緒に見る動物園もまたひと味違った楽しさがあったことと思います。私たち教師もお家の方と過ごす子ども達をみて、園では見られない姿を見ることができた時間でもありました。

昼食後は幼稚園に戻り、緑に恵まれた木陰の下やテントの中で遠足の疲れを取りながら、和やかな雰囲気の中での昼食となりました。



## お誕生日会

昨年度まで、幼稚園内のホールで行われていたお誕生日会は、今年度から聖堂で行われています。誕生日の子どもたちへ園からお祝いのメッセージと写真、父母の会から絵本のプレゼントをお渡ししています。祭壇の前に立ち、誕生日月の子どもたちは名前・年齢・将来の夢などをお話しています。照れながらも、子どもたちのとても嬉しそうで可愛らしい姿が見られます。

一年に一度のお誕生日会について子どもたちには、自分自身の誕生をお祝いする事だけではなく、ご家族の方々、そして神様に愛されて命を頂いて今日があることを伝えていきます。子どもたちが愛されている存在だということを感じ、見守って下さっている全ての方々に感謝の心をもってお誕生日と言う日を過ごして頂けることを願っています。私たち教職員も、子どもたちのかけがえのない今この時を共に過ごせることに感謝しながら、お祝いの言葉を伝えていきたいと思えます。



## 夏祭りバザーを終えて

保護者 平塚 紀子

角五郎幼稚園では、六月三十日に「七夕ドミニコ縁日へようこそ」と題して父母の会主催の、夏祭りバザーを行いました。

当日は、梅雨とは思えない程の良い天気となり、園内は子供達の楽しげな声と沢山のお客様で賑わいました。準備の段階から、バザー委員を中心とした保護者の方々や先生方のお力添えをいただき、無事にバザーを開催できました事を、心より感謝申し上げます。

幼稚園をとりまく環境は、少子化や共働きの増加など、年々変化してきています。準備に時間のかかることのような行事は大変かもしれません。しかし、子供達の笑顔や保護者どうしの繋がりなど行事を通して生まれるものもあるのではないかと考えます。

今後も、子供達のために何が出来るのかを考え、父母の会や先生方のご協力を賜りながら、尽力したいと思っております。



## 外遊び

「お外遊びに行つてきまーす!!」。お天気の良い日はみんな元気に外へ出掛けて行きます。クラスや年限は関係なく近くのお友達を誘って、砂場でお店やさんごっこをしたり、鬼ごっこをしたり、その時の季節に合わせて様々な遊びを楽しみ、友達と喜んで過ごしています。

夏には水着に着替えてプール遊びを楽しみました。皆で準備体操をしつかりして、足からゆっくり入ります。プールの中では動物に変身して水の中を歩いてみたり、ホースで作った水のトンネルをくぐって遊びました。最初は冷たい水の中も遊ぶうちに気持ちよくなり友達と沢山遊びました。

二学期から、ぐるりんアスレチック、という新しい遊具も増え、一学期よりも元気に遊んでいます。これからも沢山の友達と一緒に楽しく遊び交流を深めていきたいと思えます。





# 北仙台幼稚園

## ドミニコまつり



六月三十日に幼稚園でドミニコまつりを行いました。前日の夜の雨が嘘のように、当日は良い天気になりました。園庭には先生たちのゲームコーナーがあり、浴衣や甚平、私服の子どもたちで賑わいを見せていました。

園庭には、先生たちのゲームコーナーがあり、ゲットした商品を手に喜ぶ表情を見せていました。その他にもお母様方の出店もあり、駄菓子くじなど、子どもも大人も楽しんでいました。最後にホールでは、大道芸のパフォーマンスが行われ、バルーンアートや巧みな技を披露して頂き、大盛り上がりとなりました！

## お泊り会



七月十二日と十三日の二日間、年長児のお泊り会が行われました。電車に乗って天文台へ行き、幼稚園に帰ってきてからは、カレー作り・布団運び・スイカ割り・ダンス大会・花火大会など楽しいことが盛りだくさん！大好きなお友だちとずっと一緒に終始笑顔の子どもたちでした。帰る時には「またお泊り会したい！」と子どもたちから聞かれました。

お友だちと協力して大成功だったお泊り会。一人ひとり賞状をもらい、自信に満ちて、ますます頼もしくなった年長さんでした。

## 祖父母招待



八月三十一日、敬老の日を前に園児の祖父母の皆様を園にお招きし、祖父母招待日が行われました。

当日は、全国各地から参加して頂きました。

園児たちは大好きなおじいちゃん、おばあちゃんが来たことに大喜びな様子でした。

ホールは、この日のために一生懸命練習を重ねてきた歌やダンスを学んだと大きな温かい拍手を贈ってくださいました。子どもたちのプレゼントに包まれました。

この日一日、園内は祖父母の皆様が和やかな雰囲気になりました。

## プール遊び



今年も六・七月の暑い日にプール遊びを行うことが出来ました。子どもたちは「今日はプールに入れるかな」と毎日楽しみにしている様子でした。

年少児は初めてのプールで不安な気持ちもありましたが、楽しく遊ぶことが出来ました。学年毎に着替え、脱いだ服の積み方や片付け方を一つずつ確認します。年中児は年少の時のことを思い出しながら自分で着替えようと頑張っていました。年長児にとっては幼稚園で最後のプール遊びも重なり、プールに入る回数はいくらもありませんでしたが、友だちと一緒に遊ぶことが出来たようでした。

裸足のまま砂の上を歩き、「熱い」「痛い」と言いながら準備体操をして、いよいよプールに入ります。少し冷たい水を体にかけて、アシカの真似をして歩いたり、夏にだけ出来る遊びを満喫しました。

## 交通安全教室



六月二十六日に公益財団法人仙台ひと・まち交流財団の交通安全指導員から指導員の方々にお越し頂き、交通安全教室を行いました。

子どもたちに人気のミニオンの人形劇を通して、チャイルドシートやシートベルトの大切さや自転車に乗る時のヘルメットの大切さを知る事ができました。また、信号機の見方を覚えて、道路を渡る時には「とまって みぎ ひだり みぎ」という約束を守る事など、たくさんのお話を学びました。

バナナが大好きなミニオンと一緒に「バナナくんたいそう」を指導員の方々に負けないくらい元気に踊りました。交通安全の最後に皆で横断歩道を渡る練習をしました。指導員の方々の約束をしっかり守り、右手を真っ直ぐ上げて真剣に取り組み姿勢はとても素敵でした。これからも約束を忘れずに、安全に気を付けて過ごしましょうね。

## 運動会

### 年少

年少児は、可愛いパンダに変身して、「なんだパンダサンバ」を踊りました。



練習を始めた際は、それぞれ思いのままに行動していた年少児でしたが、たくさん練習することで楽しさを味わっているようでした。園庭での練習では、年中児と年長児が年少児の踊りを見て、「ひよこさん上手い」「頑張ってる」と声を掛けながら、時々一緒に踊ってくれたおかげで、年少児も楽しく、のびのびと踊ることができました。本番も大成功！とっても素敵でした！

### 年中

年中児は大好きな「パワフルパワー」の歌に合わせて、元気いっぱいダンスを踊りました。



暑さに負けないパワーで体を大きく動かし、汗をかきながら一生懸命ポンポンを振り回しました。振り付けを覚えることも難しかったです。初めての挑戦にドキドキワクワクで、友だちと教え合いながら練習に取り組みました。当日はみんな心を一つにして、楽しく踊ることが出来ました。笑顔がとっても素敵でしたよ！

### 年長

年長児は、毎日一生懸命練習してきた組体操とバルーンを行いました。



年少の頃から憧れていた組体操とバルーンは、実際に練習してみると上手い出来事もなくありませんでした。しかし、諦めずに何度も練習を重ね、当日は大成功！会場の皆様の温かい声援や拍手に包まれて、達成感や自信に満ちたキラキラと輝いていた笑顔は忘れられません。

練習では辛い事や苦しい事もありましたが、友だちと協力して乗り越えられたドミニコパワーを忘れずに、これからも力を合わせて頑張りたいですね！



# 小学校

## たてわり活動

本校では、一年生の一人一人に担当の六年生がいて、学校生活のサポートをしています。

### 私が気付いた伝統

六年 長澤 里緒

私の学校の入学式では、六年生が一年生のお世話をすることになっています。それはドミニコ学院小学校の伝統です。

私は担当の子が来るまで、早めに来た子のお世話をしていました。そのとき自分が一年生の時の事を思い出しました。

五年前、自分の入学式の時とてもわくわくしていました。

聖堂を見た時、初めておごそかな雰囲気のある場所を見たと思いました。幼稚園では体育館のような場所で卒園式をしました。だから、こんなにびしっとした式場は初めてでした。後で、先生に「聖堂は神様のお家」と習ったので、「だからおごそかな雰囲気だったんだ」と知りました。

自分はちゃんとここで入学式ができるのだろうか…と少し緊張していました。そうしたら背の高い六年生のお姉さんが笑顔でやさしく接してくれて安心しました。そして無事、入学式ができました。

そのお姉さんは、入学式が終わってからも私の世話をして下さいました。小学校で楽し

く過ごしているのはその時の六年生が笑顔で接してくれたからだと思います。私がお姉さんの様な存在になれたらとてもうれしいと思います。

そして目の前にいる一年生が、私が高校二年生になったころ、小学六年生になって新年生をむかえていると考えると、とてもわくわくします。

入学式で六年生が一年生を迎えるという伝統がこれからも続いていってほしいです。



### 思い出をつないでね

六年 佐藤 美優

私には一年生のときの大切な思い出がある。六年生、もう今は高校二年生になったお姉さんとの思い出だ。

朝、いっしょにRDCに参加したり、休み時間にいっしょに遊んだり、学校ではずっといっしょに活動していた。飼育委員会の仕事では、クロちゃんをさわらせてくれた。

初めての花山合宿でも、お姉さんがいてくれたから、安心だった。

今も、お姉さんがくれた手紙は大切にしまっている。私が書いた手紙はどうでもいい

内容だった。それにも関わらず、心のこもった返事をくれた。今の私も一年生のときの私も、それがうれしかった。

私はそんなすてきなお姉さんのように優しく一年生に接することができたらいいな、と思った。

私には、そんな思い出がある。今担当している一年生は、とてもしっかりしていて、どこかに勝手に一人で行かずに、私が待っていてねと言った時や遅れて着いた時に、待っていてくれる。給食も全て食べ、たくさんおかわりまでする。すばらしい一年生だ。今の六年生に似ている気もする。この子に、私と同じような思い出をつくってほしい。そして、私が高校生となったとき、りっぱな六年生になっていてほしい。



## 読み聞かせ

毎月一回、全学年に読み聞かせのボランティアを願っています。二年生に感想を聞きました。

二年 齋藤 凧

長いお話でもおもしろくて、私はすごく笑ってしまいます。

いつも読み聞かせをしてくれるお母さんが持ってくる本の中には、私が持っている本もあります。けれど、ほとんどは持っていないので、読んでもらっている途中に「あの本、買ってみたいな〜。」と思います。

いつもは夜にママが本を読んでくれます。でも、みんなと一緒に話を聞くのはあまりないので、読み聞かせはイベントのようです。



二年 石井 智仁

一人で本を読んでいるときはあまり笑わないのに、読み聞かせのときは思わず笑ってしまいます。クラスのみんなと同じお話を聞くので、おもしろいと思うところは一緒なのだと思います。

朝読書のときに、ほくは、かいけつゾロリやシャーロックホームズなど探偵のものが好きで読んでいます。読み聞かせで読んで頂いた本で特におもしろかったのは、カッパの世界の不思議なお話です。自分では読んだことのない種類



のお話だったので、新しい発見でした。

### ボランティアの方々について

読み聞かせグループ「小さな窓」は、読み聞かせを通して子供たちの想像の翼を広げる手助けをしています。小さな窓から世界に羽ばたく想像の翼。宮城県図書館、小学校、児童館、各種イベントなど、出演多数です。

### 新任紹介

今年度は新しく四名の先生方をお迎えしました。

#### 一年副担任 宮城 泰司

十年前に本校を卒業しました。十年振りにこの学校に帰ってきたら、久しぶりに会った先生方は優しく迎え入れてくれました。当時と全く変わらない先生方の姿を見て驚きました。学校の先生は歳をとらないのだろうか？そう思うほどでした。もしかして自分もずっと若々しくいられるのでは？しかし、そんな思いとは裏腹に学校が始まると忙しい毎日。こんなに忙しい毎日だと歳をとらないどころか老けて見えるのではなにか？そんなことを思うことさえありません。



ある日の下校の時間。ある男の子がさようならをした後に

ちょっと歩いてから振り返り、「先生、また明日！」と言って帰っていきました。たったそれだけのことでしたが、思わず笑顔になり、体の疲れがすーっと抜けていくのを感じました。まるで魔法のようでした。しかし、そんな魔法のような力を感じる事が学校にいると時々あります。もしかしたら子供達は本当に魔法の力を使えるのかもしれませんが。だからこそ、先生方もいつまでも元気で若々しいのかなと思いました。

#### 二年副担任 守屋 一将

はじめて教壇に立ち、二年生の子供達の前で「皆さんおはようございます。」と挨拶した時から、一学期終業式が終わった後の「さようなら。」の挨拶までに、子供達やまわりの先生方から非常に多くのことを学び、教師としても人としても成長できたように感じています。子供達の中にも日々の授業や生活の中で成長している姿を見ることができ、それを見ることこそが教師としてのやりがいであると感じました。今まで解けなかった問題が解けるようになり、テストでいい点数がとれたときや、苦手な漢字の書き取りではなまるがもらえたときの子供達の嬉しそうな笑顔を見ると、私自身もとても嬉しい気持ちになります。この気持ちを大切に、子供達に学ぶことの楽しさを感じても



らせるような指導を心がけ、聖ドミニコ学院小学校の教育に貢献していきたいと思っております。

#### 養護教諭 羽田 真理

「せんせー！」そう言って笑顔に向けてくれる子供達に、元気をもらっているのは私の方だなあとつくづく思います。

ある日、一人の子供から「保健室の先生は暇そうではないなあ。」と言われました。その時、「養護教諭は子供から暇そうに思われていた方がいいのよ。忙しそうに養護教諭のいる保健室に

なんて、子供は入りづらいでしょ。」という学生時代の恩師の言葉を思い出しました。仕事が生きて込んでしまうと慌ただしくなってしまうがちですが、子供達が安心して過ごせる保健室にするためにも、子供の目線に立つて自分を見つめ直すことも大切だと感じた瞬間でした。

「六年間」と考えると長いように感じますが、人の一生でみると六年間の小学校生活はほんの一瞬であるように思えます。そのかけがえのない一瞬、成長に欠かせない一瞬に養護教諭として関わること

に感謝し、子供達が元気に、笑顔で学校生活を送れるように精一杯子供達の健康をサポートしていきたいと思えます。



私は、学校事務は初めてで、子供達とこんなに触れ合う機会をいただけるとは思っていません。

#### 小学校事務 谷口 美穂

私は、学校事務は初めてで、子供達とこんなに触れ合う機会をいただけるとは思っていません。

せんでした。最初は、仕事でも子供への接し方でも戸惑うことが多くありました。しかし、子供達の明るい笑顔や元気な挨拶、優しい心遣いにすぐ学校に馴染むことが出来ました。毎日、学校の中を歩いていると、よく先生と子供たちが話し合っている姿を見かけます。それは、時には熱心な指導であったり時には他愛のない雑談であったりします。どれも先生方のきめ細かい配慮が感じられる対応で見ている心が温かくなります。

また、子供同士も一年から六年まで同じクラスで学んでいるからでしょうか、皆、幼馴染のような間柄で微笑ましいかぎりです。

聖ドミニコ学院小学校は、子供たちが社会の一員となる前の「人として」の基盤を育成する素晴らしい学校です。その、一助を担えるよう努めたいと思えます。



#### ★学校見学について

【日程】 十月二日（火）～十月三日（水） 九時三十分～十三時

【対象・申し込み方法】 未就学児とその保護者、幼稚園や保育園の先生、その他、関心のある方。直接おいてください。

#### ★入試について

【募集人数】 一年生 四十名（男・女）

【願書受付】 九月十日（月）～十月三十一日（水） ※土・日・祝日を除く。

【入試日】 十一月二日（金）



# 中学校

## 青野木合宿へ行つて



二年 山田 真歌  
 (岩切小学校出身)  
 二年生の先輩と青野木で合宿を行いました。最初に、学校の説明がありました。入学し

たばかりで何もわからなかったので、説明を聞いて、安心して学校生活を送れると思います。早く学校へ行きたくなくなりました。

次に、お楽しみ会を企画してくれました。遊んでいるうちに緊張もほぐれ、みんなとたくさんのお話もでき、夕方には大爆笑していました。

二日目の朝、早起きで辛いかと思いましたが、ルルドのマリア像まで散歩をして、気持ちの良いスタートとなりました。その後、部活動の紹介もあり、何部に入るうかがいながら帰りのバスに乗りました。



私は、青野木合宿を通してクラスの友達ともすぐに仲良くなれて、今では楽しい学校生活を送っています。これからも、この経験を活かして頑張っていきたいです。

## 岩手県野外活動を終えて

二年 内田愛梨佳  
 (聖トミニコ学院小学校出身)

私達は、七月十日から十二日まで岩手県で野外活動をしました。

自主研修では、盛岡の歴史、チャクチャク馬っこ、さんさ踊りなど様々な文化について詳しく学ぶことが出来ました。盛岡にはその地域の歴史、文化があることも感じられました。

二日目は洞窟探検、ツリーイングをしました。洞窟の中には複雑な形をした鍾乳石や岩がたくさん有り、自然の雄大さを感じました。また午後には民泊をしました。初めての経験なのでとても緊張しましたが、民泊の方が優しく接してくれたので、とても嬉しかったです。

三日目は民泊先でお手伝いをしました。収穫や草むしりなど思ったより大変な仕事だと感じました。

野外活動を通して貴重な経験をする事が出来て良かったです。



## 校外学習

三年 相原亜沙美  
 (六郷小学校出身)



五月二日に山形へ校外学習に行きました。そば打ちや麩作り、隠れキリシタンの学習をしてきました。その中でも思い出に残ったのはそば打ちです。

私は、体験するまではきちんと細く打つことが出来るのかずっと不安がありました。そ

ば打ちを教えて下さった方々が小さなことでも褒めて下さったおかげでそば打ちをすることが出来ました。皆、自分でつくったそばをお腹一杯食べました。山形のそばを初めて食べました。

今回校外学習でそば打ちをすることは無かったです。一度もそば打ちを経験することは無かったです。本当に貴重な体験ができました。



## 全中への大きな一歩

剣道部部长 三年 品川 杏里  
 (赤井南小学校出身)



私にとって中学最後の県大会は、東北大会、全国大会に繋がる大きな一歩になりました。

新人戦で私達は、一本差で岩沼中学校に負けてしまい悔しい思いをしました。それから県大会優勝を目標とし、負けた悔しさをバネに苦しい練習にも声を掛け合い、励ましながら乗り越えてきました。そしていつも支えてくれる家族や先生、仲間、私達に携わってくれる多くの方への感謝の気持ちを忘れずに県大会に臨みました。

県大会では決勝まで勝ち進み、相手は新人戦で負けた岩沼中学校でした。先鋒が一本を取り、みんなで繋ぎ勝つことが出来、悲願の二連覇を達成することができました。

宮城県代表として、みんなの思いと共に全国大会で頑張りたいと思います。





パスポートのいらぬ英国へ

三年 庄子 美優

(聖下ミニコ学院小学校出身)



私達三年生は四月、ブリテイッシュヒルズへ一泊二日で語学研修に行った。ブリテイッ

シユヒルズでは外国人の先生と一緒に、学校の授業では学べない身近な英語を英国にいる雰囲気の中で学んだ。班の友達と協力するゲーム感覚の授業や、スコーンを自分たちの手で作る授業もあった。スコーンを作るといってもレシビも全て英語なのでしっかりと作れているかなど、不安もあったが、美味しく作ることができ、楽しい時間を過ごすことが出来た。

ブリテイッシュヒルズにいたときに通じる言葉は英語だけ。今回この場所に行ったことで、それぞれの英語の力を伸ばすことが出来た日だったと思う。英語が出来ない

と思っても自分の意思が相手に伝わることで自信がつく良い機会となった。



中学校最後のドミニコ祭

三年 笹浦 志優

(蒲町小学校出身)



私がドミニコ祭で一番印象に残っていることは、前日祭で行われたパフォーマンスコン

テストです。選曲で悩み、振り付けで悩み、練習時間も限られていて、不安なことも多くありましたが、中学・高校をあわせて全体で二位になることが出来ました。踊り終わった後の歓声や拍手、たくさんの人に「凄かったよ」と声をかけてもらえたことがとても嬉しかったです。

当日祭で行われた、ミス・ミスターコンテスト、準備が大変だったクラス出店や偉人伝専科発表、あまり手伝いは出来ませんでした。練習して大変な音が出たり指がったり、恐怖だったりコーダー発表。全てを無事に終えることができ、ほっとしたと同時に三年間の中で一番楽しい文化祭となりました。



活躍するドミニコ生

○第五回東日本少年剣道錬成大会

中学生女子の部 第二位

○第六十七回仙台市中学校総合体育大会

剣道競技 青葉区

女子団体 第一位 【県大会出場】

女子個人 第一位 二年 山下 紗知

女子個人 第三位 二年 剣持 燈

女子個人 第五位 三年 品川 杏里

【県大会出場】

○宮城県中学校校内放送コンテスト

朗読部門 奨励賞 一年 山田 真歌

○第二十二回社の都中学校選抜剣道大会

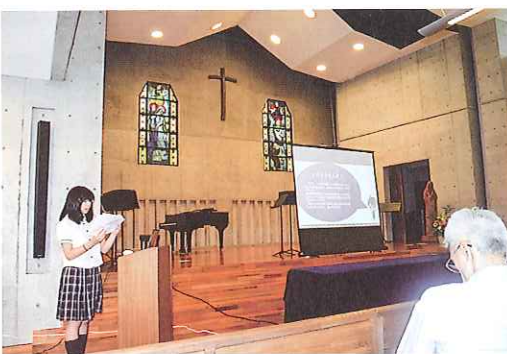
女子団体 第二位

○第六十七回宮城県中学校総合体育大会

剣道競技

女子団体 第一位【東北・全国大会出場】

〔七月二十五日現在〕



2019年度中学校生徒募集について (詳細は生徒募集要項をご覧ください)

定員	女子30名					
試験区分	I期入試			II期入試		III期入試
試験日	2019年1月7日(月)			2019年1月30日(水)		2019年2月13日(水)
出願期間	2018年12月3日(月)～12月19日(水)			2019年1月15日(火)		2019年2月4日(月)～2月8日(金)
試験内容	推薦入試	一般入試	スポーツ奨学生入試	推薦入試	一般入試	一般入試
	面接	基礎学力検査 (国語・算数) 面接	面接	面接	基礎学力検査 (国語・算数) 面接	面接
	面接は保護者同伴			面接は保護者同伴		面接は保護者同伴
合格発表	2019年1月8日(火)			2019年1月30日(水)		2019年2月13日(水)



# 高等学校

## ドミニコ祭を終えて

ドミニコ祭企画委員長 三年 鈴木 優奈  
(聖ドミニコ学院中学校出身)

私達生徒会執行部は四月からドミニコ祭に向けて準備活動をしてきました。振り返って実感するのは、本当に多くの人に助けられたという事です。

テーマ、ポスター、看板デザインには多くの人が応募してくれました。有志団体募集の対応は執行部全員が仕事を進めてくれました。実行委員の皆さんも部活や有志参加の準備で忙しい中、毎日遅くまで頑張ってくれました。当日もミス・ミスターコンテストで急遽照明を使うことになりましたがそこでは先生方に助けていただきました。多くのハプニングがありました。協力しながら対応することができました。

今回私は運営する立場になり、ドミニコ祭に向かって学校全体で動いている事を実感しとても嬉しく感じました。来校してくださった皆さまも含めて全員で作りました。ドミニコ祭だったと思えます。



## 保育体験学習して

幼児保育進学コース 二年 中島 星南  
(八木山中学校出身)

私は七月中旬に北仙台幼稚園のお泊まり保育体験実習に参加しました。体験実習ではカレー作りのお手伝いをしたり、たくさん遊んだりしながら子供達と関わり、先生方の大変さを知りました。

今回の実習を通して、体力はもちろん私達自身が笑顔で元気でいなければならぬという事を改めて実感しました。体験実習はとても大変でしたが、子供達の笑顔に元気をもらい、より一層幼稚園の先生になりたいと思いました。これからもっと勉強に励んでいきたいと強く思います。



## 西日本豪雨復興支援

街頭募金活動に参加して

ボランティア部 一年 杉浦 華姫  
(聖ドミニコ学院中学校出身)

今回の活動は夏祭りと同様に人出も多く、いつもより募金をしてくださる人が多かったです。西日本豪雨で今、西日本はものすごく大変ですがこの募金で少しでも多くの人を助けることができた良いと思えました。次回も頑張りたいです。

ボランティア部 三年 小松 莉夏子  
(仙台第一中学校出身)

暑い中みんな頑張って声を出して活動することが出来ました。西日本豪雨の募金で、市民の



方から「広島出身なんです。嬉しい！ありがとうございます。声をかけていただき、暑くても暑さに負けずに頑張ろうと思いました。これからもボランティア活動を頑張りたいです。」

## アメリカ短期留学で学んだこと

キャリアデザインコース三年 菲澤 理念  
(広陵中学校出身)

私は7月20日から8月10日までの間、カリフォルニア大学バークレー校で行われたソフトバンク・リーダーシッププログラムに参加しました。そこで私が学んだのは、失敗を恐れないことです。いつも失敗を恐れていた私は、失敗を経験してない人は信用されないという考えに大変驚きました。失敗を気にせず温かく接してくれた先生や仲間達に囲まれた環境だからこそ、私は短期間で様々なことに挑戦できたし、発言できたと思います。

次に感じたのは、みんな自分という存在をしっかりと持っていて、質問すると曖昧な答えではなく、自分の意見を持っていました。最近私は自分について考える機会が減り、何をすべきか迷っていました。留学はそんな自分から抜け出すためでもあったのです。今までは好きなことを制限し、嫌なことから逃げたいいけないと思っていました。嫌なら嫌と言ってもいい、好きなことがなくては何もできないと知りました。好きなことを強みとす



れば人の役に立つこともできるのです。だからこそ、アメリカ人は楽しみながら人のためになることをできるのだと知りました。震災のことでぶつかり、耳を背けたくなる時もありましたが、みんなが耳を傾け、認め合い、支え合って過ごしました。その中で私は、失敗を恐れず積極的に行動、発言をする、他人の眼を気にせずやりたいことをやって人生を最高に楽しむ、ただし、人に迷惑はかけない、という目標を立てました。目標を達成するために私はアメリカで地域貢献のための計画を立てました。今はその準備をしているところなんです。近いうち実現できるような頑張ります。

## 全国総文祭信州大会に参加して

バントワリング部長 二年 荻岸 このみ  
(中山中学校出身)

私たち聖ドミニコ学院バトン部は中一から高二までの十二名で活動してきました。今年の開催地である長野県での総文祭では全員で参加はできず九名で参加しました。参加するために助成金の他に学校や沢山の先生から支援をしていただいたと聞きました。私たちは感謝の気持ちを忘れず協力し合って二日間を終えることができました。

初日は松本で行われ、松本城までの大通りを他校のマーチングバンドとともにパレードし



ました。沿道には多くの人がいて声援や手を振ってくれる方がいました。とてもうれしかったです。二日目は初めての演技会場でのリハーサルでした。他の高校に圧倒されつつ緊張感を持って最後の練習に励みました。当日はみんなで心を一つにできるように一人ひとり演技の中の注意点を確認しました。演技内容としてはドロップ数が多く完璧に踊ることはできませんでしたが、楽しく演技できたと思います。あの場で演技できて本当によかったです。記録的な猛暑が続く中、汗や涙を流しながら練習してきました。今回の良かったところや悪かったところを



次のクラスの大いに生かせるように今後も練習に励みたいと思います。そして全員で悔いなく笑顔で終えられるように頑張りたいです。貴重な体験をさせていただいてとてもいい思い出になりました。

### 教育実習を終えて

東北福祉大学教育学部中等教育学専攻三年(平成)二十八年三月特別進学コース卒業

笹谷 莉花子

幼稚園から約十四年間お世話になったドミニコ学院で、三週間にわたる教育実習を無事終えることができました。教師を志してから三年間、大学でひたすら学んできたことを今度は現場で実際に経験し、その思いはさらに確かなものとなりました。

数年前の自分を見ているような元気で太陽

のように輝く生徒たちと触れ合い、同じ時間を共有できたことは大きな喜びです。目を閉じると、今でも教壇から見える生徒一人ひとりの表情が思い出されます。生徒たちと関わることで、改めて教師という「誰かの未来に繋がる職業」のすばらしさを肌で感じることができました。この三週間で得た様々な出会いや経験は私にとって生涯の財産です。高校生の頃から目指していた「ドミニコの教師になる」という夢を叶えられるように、今後も大学でしっかりと学びを深めていきたいと思えます。短い間でしたがたくさんのお宝物をいただき、ありがとうございました。

### 活躍するドミニコ生

- 謙信公杯争奪高等学校剣道大会 女子団体
  - 第一位 聖ドミニコAチーム 第二位 聖ドミニコBチーム
- 宮城県高体連仙塩支部剣道大会
  - 女子個人 第一位 山本 美風(3年) 第二位 浅野 詩奈(2年)
  - 女子団体 第一位 山本 美風(3年) 第二位 浅野 詩奈(2年)
- 仙台私立高等学校女子バレーボール春季大会
  - レシーブ賞 阿部香葉華(3年) 功績賞 川村ひなた(3年)
- 全日本バトントワリング選手権 宮城県大会
  - ソロトワール女子U-18部門 第一位 清野 純花(1年)
  - ダンストワール女子U-18部門 第二位 清野 純花(1年)
- トワイバトン女子U-18部門 第五位 石堂 祈(3年)
- ペアー U-18部門 第二位 菅野 清風・加藤 衣織(3年)
- 全国共通規定演技バトントンコンテスト
  - ソロトワール部門 金賞 山川 湖晴(2年)
- 宮城県高校総合体育大会 剣道競技
  - 女子団体 第一位 【東北大会・全国大会出場】
  - 女子個人 第五位 有馬 碧良(3年) 【東北大会出場】
- 宮城県高校総合体育大会 バレーボール競技
  - 第五位
- 東北高等学校選手権大会 剣道競技
  - 女子団体 第三位

- 第四十四回全日本バトントワリング選手権 東北支部大会
  - ソロトワール女子U-18部門 第一位 清野 純花(1年)
  - ダンストワール女子U-18部門第二位 清野 純花(1年)
- 【全国大会出場】
- 国民体育大会宮城県予選会 剣道競技 少年の部 女子
  - 第二位 相沢 杏佳(3年) 第三位 有馬 碧良(3年)
  - 第四位 内田 美空(1年) 【三人がミニ団体出場】
- 全国高等学校総合文化祭(二〇一八信州総文祭) 出場
  - マーチングバンド・バトントワリング部門 バレード部門
  - 〔七月二十五日現在〕

### 平成二十九年卒業生の進路

- 【大学】山形大学(ドミニコ中卒)上智大学(ドミニコ中卒)
- 東北福祉大学(3) 東北医科大学(2) 聖ドミニコ中卒(2)
- 東北学院大学(4) 東北工業大学(3) 仙台白百合女子大学(7) 東北文化学園大学(2) 東北芸術工科大学(2) 東北文化学園大学(2) 聖ドミニコ中卒(1) 福島学院大学 アンジェ大学(フランス・ドミニコ中卒)
- 【短期大学】聖和学園短期大学 仙台赤門短期大学 大阪成蹊短期大学
- 【看護学校】仙台市医師会看護専門学校 芸会仙台看護専門学校 仙台徳州看護専門学校
- 【専修各種学校】仙台幼児保育専門学校(6) 東北電子専門学校(3) 仙台子ども専門学校(2) 仙台総合ベッツト専門学校(2) 聖ドミニコ中卒(1) 宮城高等歯科衛生士学院 仙台医療秘書福祉専門学校 仙台医療専門学校 国際マルチビジネス専門学校 仙台デザイン専門学校 仙台ビューティーアート専門学校 仙台YMC A国際ホテル製菓専門学校(ドミニコ中卒) 日本デザインナー芸術学院 東京子ども専門学校 横浜子ども専門学校
- 【就職】メックアーバンリゾート東北 カラカミ観光秋保ランドホテル 協洋産業 KISEI トーユー 聖ドミニコ学院

### 2019年度高等学校生徒募集について (詳細は生徒募集要項をご覧ください)

科	普通科			
コース	特別進学	総合進学【2019新設】	幼児保育進学	キャリアデザイン
定員	女子35名	女子35名	女子35名	女子70名
試験区分	推薦入試		一般入試	
試験日	2019年1月16日(水)		A日程 2019年2月4日(月) B日程 2019年2月6日(水)	
出願期間	2018年12月20日(木)～2019年1月7日(月) ※土日祝日、12月25日(火)、12月28日(木)午後～1月4日(金)は除く		2018年12月20日(木)～2019年1月28日(月) ※土日祝日、12月25日(火)、12月28日(木)午後～1月4日(金)は除く	
試験内容	面接試験		A日程・B日程ともに国語・英語・数学の学力試験	
合格発表	2019年1月17日(木)		A日程・B日程ともに2019年2月8日(金)	



体験することの大切さ

小学校校長 土井 智子



外で活動した後、大人であれば疲れて座りた... 小学生はどきどきでも元気です。どこにその力を温存していたのかと思うくらいに元気に走りまわり、大声を出して笑っている姿を見ていると、自然に笑みがこぼれてしまいます。「遊びをせむとや生まれけむ、戯(たはぶ)

日本モンテッソーリ協会(学会) 第51回全国大会を終えて

幼稚園園長 森本 幸子



「インクルーシブ教育とモンテッソーリ教育」一気になる子どもと共にのテーマで8月2日〜4日にかけて日本モンテッソーリ協会全国大会が郡山で行われました。第51回となるこの大会は、新たな半世紀のスタートに相応しい内容と熱心に満ちた大

活かされている教え

北仙台幼稚園園長 齋藤 潤子



新学期が始まって間もない頃のある朝、園児を送って来られたお母様が「園長先生、娘(小二)が小学校で代表役員(学級委員)になったのです。大変な事をなぜ自分から引き受けたのか聞いてみると「皆が嫌がる事をしたら、人の役に立てると思っ

れせむとや生まれけむ、遊ぶ子供の声聞けば、我が身さへこそゆるがるれ」と、平安時代に編まれた歌謡集にありますが、時代が変わっても子供の姿は変わりません。IT時代と呼ばれる現代は、どこまでも便利でスマートな生活が求められています。効率的であることが当然と考えられる世の中にあつて、子育ては、手をかけること、目をかけること、心をかけることにおいてたくさん

の時間を必要とします。子供の目線に立ち、その歩みにそって共に歩んでいくことは根気がいります。根気強く子

会でした。基調講演を下さった書家金澤泰子先生は、京都の建仁寺に国宝・俵谷宗達の「風神雷神」の絵と並んで展示されてある「書」を書かれたダウン症の書家金澤翔子さんのお母様です。我が子をダウン症として産んだ母親の深い間のような苦しみの中で、やるせない時間を埋めるために、無心の翔子さんと共に楷書の極則と言われ

る完璧な書を書き上げた欧陽詢という書家の般若心経の楷書にお二人で膨大な時間と全精神を費やしたということです。来る日も来る日もお二人で間のような中で費やしてきた膨大な時間が

供に関わることで、子供たちは自分が愛されている存在であることを実感していきます。

学童期は、失敗しても恐れず再び挑戦すればよいと考え、自分の人生に前向きに取り組む土壌を育てる大切な時期です。全身を使った遊びや問題解決に根気強く取り組む活動を、学校生活の中でも経験させることを念頭に教育活動を続けています。

なければ、今の翔子さんの「書」は書けなかったに違いない、とおっしゃいました。翔子さんは染色体が一つ多いダウン症として生まれましたが、その一つ多い染色体で純粋で競争心を知らない清い魂を頂いていること、また、感性や優しさ、生き方を通して光り輝いている我が子に今では敬意の念さえ抱いている凛とした母親の姿に心打たれました。そして、間が深ければ深いほど、そこに存在する力は輝きを増すこと、何より「子供の持つ力を信じる」ことの大切さと希望を伝えて下さいました。

て立候補した」と言ったのです。その言葉を聞いた時、私は胸が熱くなりました。ドミニコの教えのおかげだと思

幼稚園 募集要項

聖ドミニコ学院幼稚園

二〇一九年度 園児募集日程

- 願書配布開始 十月 一日(火)
○入園説明会 十月 一〇日(水)
○お楽しみイベント 十月 十九日(金)
○体験入園 十月 十二日(金) 十月 十七日(水)

園児募集について

- ◎満三歳児(四年保育) 二〇名
◎三歳児(三年保育) 四〇名
◎四歳児(二年保育) 一〇名
◎五歳児(一年保育) 若干名

○入園願書受付・面接・手続き 十一月 一日(木) 七時三〇分〜

- 〈場 所〉 聖ドミニコ学院幼稚園
〈提出物〉 入園願書、家族写真
検定料(五千円)
〈入園面接〉 親子面接 (一〇分程度)
〈入園手続き〉 入園許可された方 入園料 四万円
教育充実資金 三万円
〈用品注文〉 カバン・上靴 道具等
詳しくは、募集要項をご覧ください。

北仙台幼稚園

二〇一九年度 園児募集日程

- 願書配布開始 十月 一日(火)
○入園説明会 十月 一〇日(水)
○幼稚園見学会 十月 四日(木) 十月 五日(金) 十月 九日(火)
◎キッズフレイター 十月 十六日(火)
◎アニマルランド 十月 十九日(金) 二十三日(火)
雨天時

園児募集について

- ◎三歳児(三年保育) 四〇名
◎四歳児(二年保育) 若干名

- 入園願書受付・面接・手続き 十一月 一日(木) 八時三〇分〜
〈場 所〉 聖ドミニコ学院
北仙台幼稚園
〈提出物〉 入園願書、調査票等
検定料(五千円)
〈面接〉 親子面接 (一〇分程度)
〈入園手続き〉 入園許可された方 入園料 四万円
教育充実資金 二万円
〈用品注文〉 カバン・上靴 道具等
詳しくは募集要項をご覧ください。

